

38. リハビリテーション科

リハビリテーション科部長 松本弥一郎

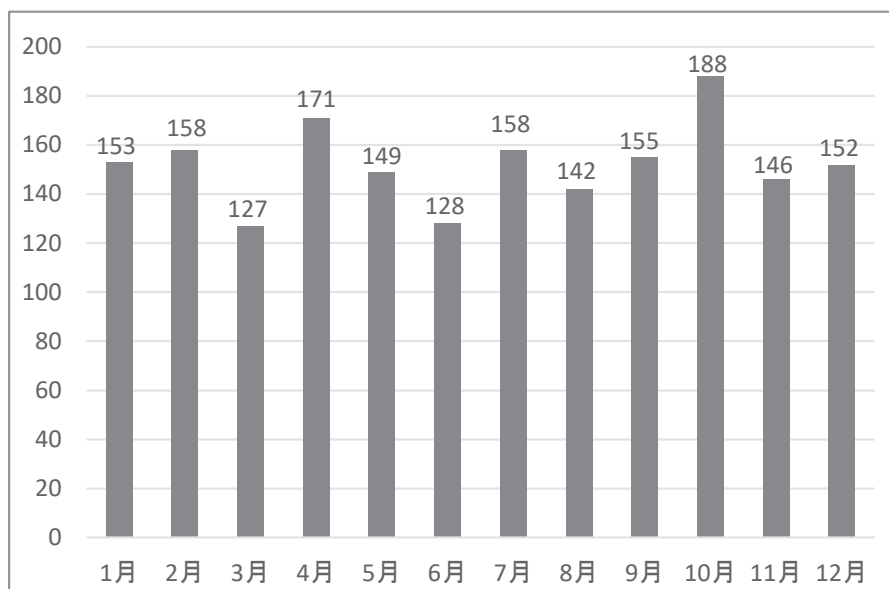
2024年は、医師交代に伴う影響が内容に引き続き治療に関して取り組んでまいりました。脳卒中後遺症による上下肢痙縮患者に対するボツリヌス療法+集中的リハビリテーション治療の治療効果、患者満足度をあげることができました。

従来から取り組んでいる呼吸器外科、乳腺外科、肝臓外科の周術期リハビリテーションは継続して行う事ができました。特に乳腺外科では、続発性リンパ浮腫に対し早期発見・早期ドレナージ指導・治療により、患者さんの仕事復帰の一助となりました。また、呼吸器外科ではロボット支援手術が導入され、患者さんへの手術侵襲の低減により術後の早期離床が全ての患者さんで均一となりました。侵襲の低減によりリハビリテーションも順調に進み、入院期間の短縮に繋がっています。

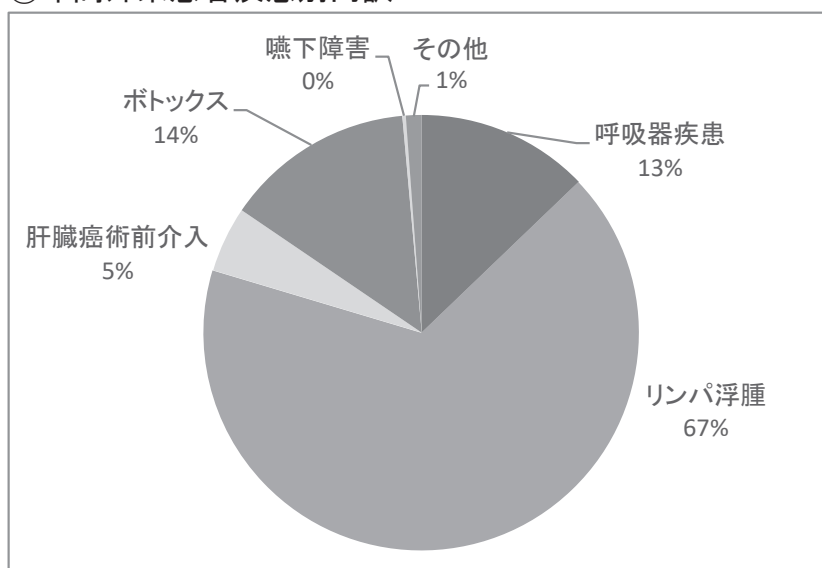
2025年もこれまでの取り組みの継続、新たな取り組みを行っていきたくと存じます。

診療実績（2024年1月～12月）

①月別延べ患者数



②年間外来患者疾患別内訳



③ボツクス件数

2023年	107件
2024年	108件